

国道476号 瀬河内・櫛曲拡幅

(平成16年3月開通)

うそこうち 瀬河内トンネル

あらまし

一般国道476号は、大野市を起点とし、福井市、池田町、南越前町を経て敦賀市に至る総延長76.0kmの幹線で、平成6年度から平成15年度にかけて、福井県が事業主体となって整備した木ノ芽峠トンネル（南越前町板取～敦賀市新保）により、現在の通行不能区間が解消されました。また、一般国道8号を補完することにより、嶺北地方と嶺南地方との連携が強化され地域産業の発展と文化の交流が期待されております。

瀬河内トンネルは、この一般国道476号のうち、瀬河内～櫛曲地係に残存する旧国鉄時代のレンガトンネルを拡幅するもので、これにより、安全で円滑な交通確保を図るものです。

トンネルを拡幅するに当たり、亀裂の進行した岩盤の崩壊を防止するため、トンネル補強工としてAGF工法を採用しました。これにより、低コストで安全に掘削することが出来ました。

事業概要

路 線 名	:	一般国道 4 7 6 号
事業箇 所	:	福井県敦賀市瀬河内～檜曲
事業延 長	:	L = 1, 0 0 0 m (内、トンネル 1 1 2 m)
事業期 間	:	平成 1 0 年度～平成 1 5 年度
構造規 格	:	第 3 種第 3 級
設計速 度	:	5 0 k m / h
道路幅 員	:	トンネル部 総幅員 1 1 . 2 5 m (車道幅員 3.25m×2、路肩幅員 0.5m ×2、歩道幅員 3.0m、監査歩廊幅員 0.75m)
事業費	:	約 6 億 9 千万円 (トンネル部)

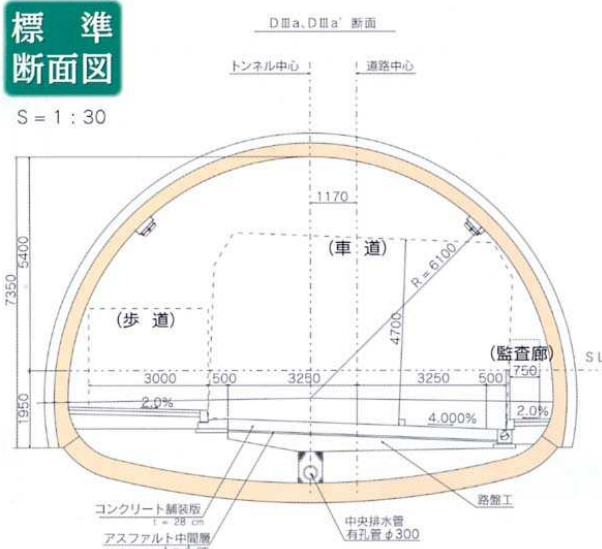
位置図



標準横断面図

標準断面図

S = 1 : 30



AGF工法

All Ground Fasten

長尺の鋼管を打ち込み、トンネル周辺地山を補強する注入式長尺先受工法です。崩れやすい地山の崩壊や地表沈下を防止することができます。

